

061 言語の種類・特徴 —XML—

【例題】

XMLに関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア HTMLを基にしてその機能を拡張したものである。
- イ XML文書を入力するためには専用のエディタが必要である。
- ウ 文書の論理構造と表示スタイルを統合したものである。
- エ 利用者独自のタグを使って文書の属性情報や論理構造を定義することができる。

解答 エ

【解き方】

XML (eXtensible Markup Language) は、ネットワーク上でのデータ交換に使用される汎用のマークアップ言語です。文書に意味をもたせ構造的に表現するために考え出されたSGMLを理解しやすいように簡素化し、HTMLのタグやハイパーリンクの考え方を取り入れた言語です。HTMLとは異なり利用者が独自のタグを使い文書の論理構造を定義することができるのが最大の特徴です。

```
<ROWSET>
<ROW ID = "1">
  <EMPNO>1234</EMPNO>
  <ENAME>山田太郎</ENAME>
</ROW>
<ROW ID = "2">
  <EMPNO>1345</EMPNO>
  <ENAME></ENAME>
</ROW>
</ROWSET>
```

通常、開始タグと終了タグの間に内容(データ)を指定しますが、データがない空要素の記述には、「<ENAME></ENAME>」といった方法と、開始タグと終了タグではなくシングルタグを用いた「<ENAME/>」といった方法があります。

ア：XMLは、HTMLの考え方を取り入れてはいますが、基にしているのはあくまでもSGMLです。

イ：XMLは、HTMLなどと同様に通常のテキスト形式のファイルなので、一般に使用されているテキストエディタでの編集が可能です。

ウ：XMLは、論理構造を表現するための言語であり、表示スタイルに関しては別途XSLT (XML Stylesheet Language Transformations) などを利用します。

チェック問題 XMLは利用者独自の□□□□を使って文書の属性情報や論理構造を定義することができる。


こだわり解説

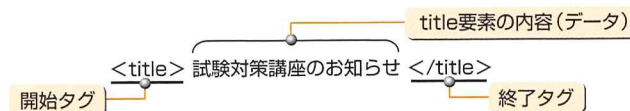
 関連知識も知っておこう！

1 HTML

HTML (HyperText Markup Language) は、Webページを記述するためのマークアップ言語(マーク付け言語ともいいます)で、別の場所にある文書や画像などを関連付けたハイパーテキストを作成できます。

2 タグ

次の例のように要素の名称を括弧で囲んだものをタグといいます。



3 SGML

SGML (Standard Generalized Markup Language) は、タグを使って文書の論理構造や文字の大きさなどの属性を文書中に記述していくマークアップ言語の一つで、1989年にISO (国際標準化機構) の「ISO8879:1989」として国際規格化されました。また、JIS (日本工業規格) では、「JIS X 4151 : 1992」として規格化されています。

HTMLやXMLといった他のマークアップ言語はSGMLを基にしてその機能を拡張したものと いえます。

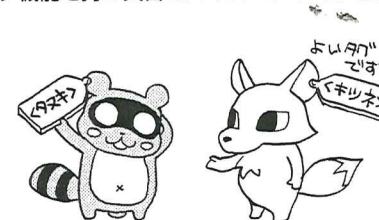
4 ハイパーリンク

ハイパーリンクは、他の場所にある文書や画像などへ直接ジャンプするための位置情報です。たとえば、インターネット上の他の場所にリンクするには、次の例のように^{アンカー}「a」要素としてマークアップします。

```
<a href="http://www.ric.co.jp/book/info_pro.html">
```

開始タグに付加情報として「リンク先URL」を記述します

また、このようなリンク機能を持つ文書をハイパーテキストといいます。



答：タグ